



愛知環境カウンセラー協会報

令和 8 年度の AECA の行事予定

会長 齊藤 保彦

本年度実施の各種事業は以下のとおりです。実りのある活動を行っていきたくと考えています。会員の皆さまのご参加、ご協力をお願いいたします。

また、協会の活動として、また環境カウンセラーとして核となるような事業など、実施したい企画がございましたら積極的にご提案いただけますと幸いです。

○継続業務

- ・愛知県による三河湾環境再生プロジェクトへの参画：三河湾環境再生ワークショップの開催（6月開催）、「三河湾大感謝祭」でのブース出展（11月）

- ・名古屋市主催：「環境デーなごや」でのブース出展（11月）
- ・SDGs AICHI EXPO 実行委員会主催：「SDGs AICHI 子ども・ユースフェア」でのブース出展（11月）
- ・ファラデー勉強会の開催（年 2 回）
- ・会報の発行（年 2～3 回）、AECA ニュース及び Facebook の配信（随時）
- ・「EA21 地域事務局あいち」の運營業務（通年）

○新規業務の検討

- ・環境カウンセラー資格取得支援のための業務
- ・交付金、助成金業務の獲得

愛知県・三河湾環境再生プロジェクトへの参画

会長 齊藤 保彦

1. 三河湾環境再生ワークショップの開催（「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業」の交付金にて実施）

このワークショップは 2012 年より継続開催しており、今年で 15 回目の開催となります（コロナウイルスの感染拡大による影響で 2021 年、台風の影響で 2024 年は開催中止）。

本年は、6 月 7 日に渥美半島において実施する予定で、田原市内にある愛知県栽培漁業センターの見学、西の浜でのクリーンアップ活動を行います。

2. 三河湾環境再生パートナーシップ・クラブの主催事業への参加

2014 年に発足した「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」の一員として、クラブのメイン

事業として同年より始まった「三河湾大感謝祭」に毎年ブース出展の形で参加しています。

今年度の大感謝祭は、11 月 14 日に蒲郡市竹島ベイパークにて開催される予定で、AECA は今年もブースを出展します。

また、同クラブが実施する三河湾大感謝祭以外の事業（意見交換会、交流会など）にも積極的に参加します。

上記各種事業の運営、参画におきまして、ご参加いただける会員の皆さまを募集いたします。是非、スタッフとしてご参加、ご協力いただき、協会の活動を PR して盛り上げていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

かすがい環境賞を受賞して

行本 正雄

春日井市は市民の環境問題への関心と環境保全意識の高揚を図るため、2000 年 12 月から環境活動の表彰や環境に関する講演を、「春日井市民環境フォーラム」としてスタートしました。2024 年度より幅広い世代が環境について学ぶ、触れる、交流・体験することができるよう、各団体の出展のほか、環境啓発のパネルや作品展示なども取り入れ、新たに「かすがい環境フェス」として開催されています。2025 年度は、11 月 27 日午後から春日井市市役所 1 階フロアで開催され、私は「かすがい環境賞」を受賞し、会場の壇上にて石黒直樹市長より表彰状を授与されました。この「かすがい環境賞」は環境対策の推進や地域において環境活動に取り組んでいる個人や団

体などの功績をたたえるもので、2004 年度から実施されています。受賞理由は、私が春日井市ごみ減量推進審議会委員を 16 年間勤め、委員退任後も春日井市婦人会協議会及びかすがい女性同盟、並びに NPO 団体など多数の環境に関する講演活動が評価されたものです。

なお、春日井市は都市に豊かな自然が感じられ、人と人との新たな交流が生まれ、安心して暮らせるまちを意味する「みろくの森から道風の里まで蛙の合唱消えぬ道、暮らしと出会いを大切にするまち」を共通の想いとし、市民、事業者及び市が一体となり、環境都市の実現をめざすことを宣言しています。



写真-1 市長より授与（授賞式）

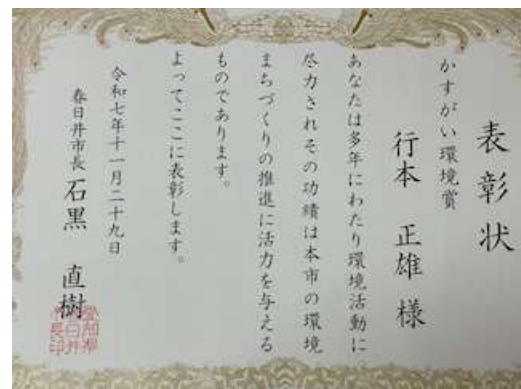
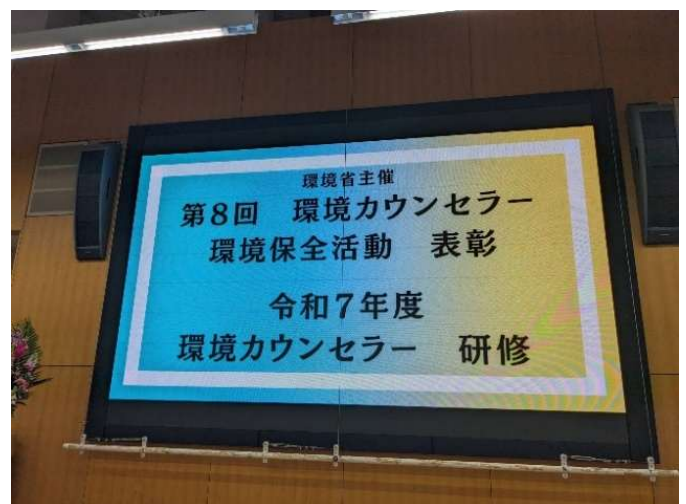


写真-2 かすがい環境賞の表彰状

第 8 回環境カウンセラー環境保全活動表彰式および 令和 7 年度環境カウンセラー研修の参加について（報告）

多賀 吉令

環境省では、特に優れた環境保全活動を行った環境カウンセラーに対して、その活動を讃え、社会に広く知らせるため、環境大臣や総合環境政策統括官から表彰状を授与しています。第 8 回の受賞者が令和 8 年 1 月 18 日（日）に環境カウンセラー集合研修（於：国立オリンピック記念青少年総合センター）にて、表彰式及び令和 7 年度環境カウンセラー研修会が行われました。なお、自然共生社会貢献賞は愛知環境カウンセラー協会理事鈴木吉春氏が受賞されました。



1. 受賞者紹介

【環境大臣賞】

○事業者部門 林 俊春

岩手県地球温暖化防止活動推進員や地域脱炭素推進員として講演活動を継続し、ISO14001 環境管理責任者や環境省エコアクション 21 審査員として企業の環境経営を支援してきた。環境審議会委員や各種セミナー講師として政策提言と人材育成に貢献し、下水道の維持管理や災害対応にも取り組んでいる。その積み重ねが認められ、中小企業の環境経営指導者として東北地方で広く認知されるに至っている。環境カウンセラーの広報活動では、毎年岩手県庁を訪問し、「環境カウンセラーとして何ができるのか」を機会あるごとに普及啓発を行ってきた。岩手県環境カウンセラー協議会理事長として市民・事業者への相談対応や制度の広報活動を推進してきた点も含め、環境カウンセラー制度への寄与を高く評価した。

【総合環境政策統括官賞】

《脱炭素社会貢献賞》

○市民部門 湯澤 真理子

再生可能エネルギーの導入や市民協働による太陽光発電所の推進に尽力してきた。企業・団体・公民館での講演活動を通じて温暖化対策の普及啓発を進め、市民意識の向上に寄与するなど、南信州全域で脱炭素社会に向けた取組を推進してきた功績を高く評価した。

○事業者部門 飯田 哲也

環境落語講座を創設するなど、温暖化防止や省エネ、ごみ減量をわかりやすく伝える独自の啓発手法を確立し、全国で公演を重ねている。企業分野ではエコアクション 21 審査員として中小企業の省エネ・温室効果ガス削減を支援するなど、専門性と独自の創意工夫をもって、脱炭素の普及と実践を推進している点を高く評価した。

《循環型社会貢献賞》

○市民部門 今村 和志

企業・自治体への講演やフィールドワークを年間多数実施し、荒川や海洋ごみ、生物調整、資源循環など幅広い分野で実績を重ねてきた。若年層への啓発にも力を注いでおり、都市河川と海洋ごみ問題の解決に資するものとして高く評価をした。

○事業者部門 鈴木 泰代

企業・市民・教育機関と連携し、国内初となる牛乳瓶プラスチックキャップ回収システムを確立するなど、持続可能な資源循環の仕組みづくりを推進している。筑波山麓でのカーボンオフセットの森づくりや、環境教育インストラクター制度の運営を通じ、温暖化対策と人材育成にも貢献している活動を高く評価した。

《自然共生社会貢献賞》

○市民部門 鈴木 吉春

渥美半島や三河湾・伊勢湾において漂着ごみのクリーンアップ活動や体験型自然学習を推進し、海の自然環境に親しむ機会を提供し、児童・生徒への環境教育にも注力している。これらの取組を、地域に根差した環境保全と次世代育成を両立させるものとして高く評価した。

○事業者部門 宗實 久義

特定外来生物クビアカツヤカミキリ対策の第一人者として全国的に活躍し、樹木医をはじめとする専門家を指導しながら松枯れ予防など森林保全に顕著な成果を挙げている。加えて、講演活動や市民向け研修を通じて外来生物被害の深刻さを広く社会に伝え、一般市民の理解と参加を促進。専門的知見を分かりやすく解説するなどの活動を高く評価した。

《地域特別貢献賞》

○市民部門 庄司 一也

大学教員としての専門性や、大学教員ネットワークを活用し、地域課題への提案や共有化を進めるとともに、デジタル技術を活用した環境カウンセラーの連携教育を実践している。さらに、大学間連携を推進し、情報スキルを生かした研修や環境教育を展開するなど、教育と普及啓発を通じて地域社会に大きく貢献するものとして、高く評価した。

○事業者部門 百瀬 英雄

環境科学研究所で培った知見を活かし、市民に寄り添った周知と地域パートナーシップの構築に尽力するなど、その活動が、市民・事業者・行政を結びつけ、地域の環境保全を推進するものとして高く評価した。

2. 研修会

1. 対面研修		2. オンライン研修	
10:00～主催者挨拶 黒部 一隆 氏 環境省 環境教育推進室長 兼 環境計画室長 第 8 回環境カウンセラー環境保全活動表彰式		※主催者挨拶、表彰式を録画（編集）したもの	
専門知識の習得及び交流	テーマ【地球温暖化】 10:35～「気象キャスターが伝える気候変動」 講師：蓬萊大介氏 株式会社 ytv Nextry（気象予報士・防災士）	※対面研修を録画したもの（オンライン研修用に編集） 「気象キャスターが伝える気候変動」 講師：蓬萊大介氏	
	テーマ【環境カウンセラーの連携】 11:30～「コミュニケーションプログラム」 進行 事務局		
	テーマ【生物多様性】 13:00～「歴史と環境を未来につなぐ～生物多様性モデル工場への取り組み～」 講師：飯塚直樹氏 花王株式会社 和歌山工場 地区サービスセンター環境課長	※対面研修を録画したもの（オンライン研修用に編集） 「歴史と環境を未来につなぐ～生物多様性モデル工場への取り組み～」 講師：飯塚直樹氏	
	テーマ【廃棄物】 14:00～「高齢者の片付け支援と環境配慮～地域で支える 3R の暮らし～」 講師：石塚祐江氏 NPO 法人環境「リ・ふれんず」代表理事、廃棄物資源循環学会北海道支部長、遺品整理士	※対面研修を録画したもの（オンライン研修用に編集） 「高齢者の片付け支援と環境配慮～地域で支える 3R の暮らし～」 講師：石塚祐江氏	
15:00～ 自主交流、アンケート記入、閉会		情報発信能力・スキルアップ 【情報との向き合い方】 「フェイクニュースに騙されないために～ソーシャルメディア時代に必須のファクトチェックとリテラシー～」 講師：古田氏 一般社団法人セーフターインターネット協会 JFC 編集長 【まちづくり】 「人口減少下の地域を考えるースマートシュリンクへの道ー」 講師：小峰隆夫氏 大正大学地域構想研究所 客員教授 【社会貢献】 「環境カウンセラーネットワークの社会貢献」（仮題） 発表：青山範子氏・福田佳代氏 更生保護施設等支援協議会 理事 事務連絡 「環境カウンセラー手続き解説」 解説 環境カウンセラー全国事務局	
【対面研修の補足】 表彰・研修をおこなう会場は 1 か所（部屋の移動なし）となります。一日を通して受講ください。 昼食は持参いただくか、センター内に食堂、カフェがありますので、ご利用ください。（昼食場所は当日ご案内いたします）			

3. 閉会

令和 7 年度環境カウンセラー研修後中山室長補佐から研修会開催の目的と各講師への謝意及び参加者への激励が述べられ行事の締めとなりました。

4. その他（掲示コーナー）

環境カウンセラー等のポスターや環境新聞に掲載された環境カウンセラーの紹介記事も掲示されていました。

5. 感想

環境カウンセラー制度も制度施行 30 年の節目を迎えるため、今回の表彰式・研修会はプレ記念研修大会とも言える有意義な研修会であったと思います。

研修の中で特に印象に残ったのは、気象予報士でしかも気象キャスターの「蓬萊大介」先生の話であり、私たちに気象に対して身近な事項をわかりやすくスライドを多く取り入れ話していただけたことです。私自身思うことは、今後各地区でこのような研修会が実施されることを願います。

環境カウンセラー表彰「自然共生社会貢献賞」受賞に際して

鈴木 吉春

2015年3月、退職を機に教員時代に取り組んできた「環境教育」、亀の子隊として実践してきたことを何か生かせないかと「環境カウンセラー」の資格を取ることにしました。

環境カウンセラーとなり10年になります。環境カウンセラーとして、どこかからの依頼やお呼びがあって活動することはありません。残念ながら私の周辺では、行政も含めて「環境カウンセラー」という制度そのものが知られていません。そのために、毎年の活動報告は、基本的な「クリーンアップ活動」や「海の環境を学ぶ会」の活動ではなく、保育園の野外活動の講師だったり、出前授業の中に入れてもらって話をしたりした時の様子を報告してきました。

昨年度、その報告をするときに環境カウンセラー全国連合会のページに、環境カウンセラー大臣表彰の制度を見つけ、いろいろ取り組んできたことが認められるのかどうか試してみようということで応募しました。残念ながら、届いたのは見事落選通知です。

本年度、環境カウンセラー全国連合会から「第8回環境カウンセラー環境保全活動表彰募集」というメールが届いたのを見て、再挑戦をすることにしました。

ところが、前年度とは申請書や応募シートの様式が変わっていて、応募シートを書くのにひと苦労です。亀の子

隊の活動の基本的な活動～西の浜クリーンアップ活動、海の環境学ぶ会、イベントなどの広報活動、エコツアー～を一つ一つの活動として記載し、応募しました。11月21日でした。

12月13日(土)に、岐阜市で開催された「レジリエンスカフェ」のパネリストとして招かれたときにECU環境カウンセラー全国連合会会長・藤本さんに出会いました。藤本さんから、「第8回環境カウンセラー環境保全活動表彰への応募、ありがとうございます」と声をかけられ、話をしました。

1月18日の表彰の日は、5時54分発の電車に乗り、9時過ぎに会場に着きました。表彰のリハーサルがあり、対面研修が始まる前に表彰式です。環境省環境教育室室長：黒部一隆様から表彰を受けました。自然共生社会貢献賞(市民部門)として名前を呼ばれたとき、実感しました。受賞理由が読み上げられたときは、「あ～よかった」と思いました。

岐阜市でのレジリエンスカフェの中で亀の子隊の活動を紹介したことが、受賞につながったのかもしれませんが。パネルディスカッションのテーマは、「つながり」でした。今回の受賞は、様々なつながりのたまものだと思います。多くの方々に感謝です。



写真-1 出前授業で説明する様子



写真-2 レジリエンスカフェパネリスト



写真-3 環境省環境教育室室長から表彰



写真-4 環境省環境教育室室長：黒部一隆様

AECA だより

会長 齊藤 保彦

役員連絡会議において AECA ホームページ（以下、HP という。）のリニューアルが議題として取り上げられ議決されました。

HP は AECA（活動）の PR, 一般への情報提供、会員への情報提供と相互連絡を主目的としています。

現在の HP はコンテンツが少なく、レイアウトに課題があることなどが指摘されました。このような課題の改善を図るため HP をリニューアルする検討が AECA 広報グループにて進められています。

今後の HP リニューアル工程は以下のとおりです。

- ① 基本設計：トップページデザインとレイアウト、各階層（カテゴリー）の構成
- ② 詳細設計
- ③ 基本ページの制作
- ④ 各階層役割分担と制作
- ⑤ 公開
- ⑥ 更新（2ヶ月／広報グループ担当）

なお、この HP リニューアルは 2026 年通常総会の報告事項としております。

「今後の予定」

2026 年 5 月 30 日（土）	通常総会（ウインクあいち）
同 6 月 13 日（土）	役員連絡会議（本陣なかむら共用会議室）
同 7 月 5 日（日）	役員連絡会議（本陣なかむら共用会議室）
同 9 月 5 日（土）	役員連絡会議（本陣なかむら共用会議室）
同 10 月 4 日（日）	ファラデー勉強会、理事会（本陣なかむら共用会議室）
同 11 月 7 日（土）	役員連絡会議（愛知県国際展示場）
同 12 月 6 日（日）	役員連絡会議（本陣なかむら共用会議室）

EA21 地域事務局の近況

事務局長 中尾 嘉文

これまでこのコーナーでは毎回テーマを決め、そのテーマについて解説してきましたが、今回はタイトルのとおり、EA21 地域事務局あいちの近況についてご報告します。

まず、組織体制ですが、2024 年 1 月に渥美さんをご逝去され、しばらく 3 人体制でやりくりしてきました。さらに、2025 年 6 月から私に加わり、10 月に石川創さんが退任された後、私が事務局長を引き継ぎ、12 月に村瀬政彦さんが加わるといった目まぐるしい事務局員の交代がありました。

私は審査員に専念するまでの間の暫定となる予定ですが、従来から在籍する木下和哉さん、間瀬和美さんを合わせた 4 人の事務局員体制で 2026 年度は運用します。関係者の皆さま、ご支援いただきますよう、よろしく願いいたします。

さて、愛知県には「地域事務局あいち」の他に豊田商工会議所が運用する「地域事務局とよた」がありましたが、2 月末で事務局を返上しました。管轄していた事業者様は、「地域事務局静岡県環境資源協会」が引き継ぎ、3 月 1 日より、豊田市内にとよた事務所を新設しました。静岡県環境資源協会の支部というイメージです。

つきましては、愛知県内に 2 つの地域事務局があるということはこれまでと変わりありません。「地域事務局あいち」は「地域事務局静岡県環境資源協会とよた事務所」と連携して事業者の環境マネジメントシステム運用の支援をしていきます。関係者の皆さま、ご協力いただきますよう、よろしく願いいたします。

新規入会会員の紹介

会長 齊藤 保彦

新規にご入会いただいた会員を以下に紹介します。

○杉江 不二子 (スギエ フジコ) 様 (市民部門) : 正会員 (令和 7 年 12 月入会)

○林 希一郎 (ハヤシ キイチロウ) 様 (事業者部門) : 正会員 (令和 7 年 12 月入会)

○村瀬 政彦 (ムラセ マサヒコ) 様 (市民部門) : 正会員 (令和 8 年 4 月入会)

○岡田 康 (オカダ ヤスシ) 様 (市民部門) : 正会員 (令和 8 年 4 月入会)

○伊藤 悟 (イトウ サトル) 様 (市民部門) : 正会員 (令和 8 年 4 月入会)

今後は、得意分野も含め、今までのご経験を活かし、当協会活動への積極的なご参加、ご協力の程よろしくお願ひいたします。なお、皆さまの自己紹介は以下のとおりです。

自己紹介

杉江 不二子

(令和 7 年度より AECA に登録しました杉江不二子です。

私は、環境塾 3 期生で 2007 年に環境カウンセラー登録をしました。

10 年以上、イオン株式会社の店舗にて環境・社会貢献の担当をしていました。

環境でいえば、エコクラブ (イオン名: チアーズクラブ) に入会している小・中学生の環境学習を行っていて、外部講師・名古屋市職員を招く一方、何人もの大学生にも協力をしていただきました。特に、大学生の皆さんは会員のロールモデルでした。様々な方たちと一緒に活動ができ楽しい上に勉強にもなりました。

現在は、愛知・名古屋アジア競技大会のボランティアでもあることから、小型家電由来を活用する「リサイクルメダル プロジェクト」を見守っています。東京 2020 の参加型「都市鉱山からつくる みんなのメダルプロジェクト」は、パリ・ミラノ五輪にも繋がっています。

これからも「リサイクルメダルリレーション！」の広がり期待します。どうぞ、よろしくお願ひします。

林 希一郎

令和 7 年度より会員登録をしました林と申します。環境カウンセラーの登録はずいぶん前になります。現在、名古屋大学未来材料・システム研究所というところで主にエネルギー・環境問題の研究を行っています。特に、生態系サービス評価、再生可能エネルギーの適正立地、環境影響評価などを専門にしております。AI や地理情報システムなどを用いた空間評価などの研究をすすめ、社会に役立つことを目指しております。以前は、森林の間伐ボランティアなども行い、よく森林の中にはいることもあります。こういった経験を活かしながら、学協会や自治体での講演活動などを通じて活動を進めています。

今後は、現在進めている研究活動などを通じて、持続可能な社会の実現に資するような活動を進めていきたいと考えております。

村瀬 政彦

私たちの暮らしはとても便利になりましたが、その一方で、地球温暖化や資源の減少、野生生物の絶滅など、さまざまな環境問題が深刻になっています。日本では、工場などからの二酸化炭素は減ってきているものの、家庭からの排出は増えており、私たち一人ひとりの生活を見直すことがとても大切になっています。

私は、未来を担う子どもたちに、環境問題のことを「むずかしい話」ではなく、「自分ごと」として感じてもらえる授業を届けたいと思い、小中学校で環境出前授業を行っています。動画やゲーム、実験などを取り入れながら、「知る・考える・やってみる」につながる時間を大切にしています。

最近、幼稚園や保育園にも伺うようになりました。3 歳児さんとの自然あそびでは、これまでの経験が通用しないことも多く、日々保育士の先生方に教えていただきながら楽しく学んでいます。子どもたちと一緒に給食を食べる時間も、私にとって大切な学びのひとつです。これからは、子どもたちの「なんで?」「やってみたい!」を大切にしながら、環境のことを楽しく学べる場を広げていきたいと思っています。

岡田 康

おかげさ自然体験の森は、23 年前に開設された岡崎市の環境学習施設です。4 年前より指定管理者制度に移行し、コニックス株式会社が最初の指定管理者となり、私は環境学習および広報担当に就きました。当初は、学校向け環境教室や一般向け環境学習イベント、特定外来生物駆除イベントなど、試行錯誤の連続でしたが、経験を重ねる中で、愛知県生態系ネットワーク協議会からの情報収集をもとに環境学習イベント、企業ボランティア活動の受け入れ、市民協働による森づくりなどにも活動の幅を広げられるようになりました。

自然環境の重要性を次世代に広く伝えていくため、「人・物・技術」の相乗効果が生まれるような活動を目指していきます。愛知環境カウンセラー協会に入会することにより、さらにネットワークを広げ、活動を充実させていきたいと考えています。今後ともよろしくお願ひいたします。

伊藤 悟

令和 8 年度から会員となりました伊藤悟と申します。私は大学で林学、大学院で環境科学を専攻し、環境計画や環境教育を学びました。名古屋市職員として東山植物園や戸田川緑地、久屋大通庭園フラリエ等に勤務し、生物多様性保全や環境教育プログラムの創出に従事した経緯があります。

現在は樹木医として、県内の天然記念物の診断や樹勢回復に携わる傍ら、特定外来生物クビアカツヤカミキリから日本の桜文化を守るための啓発

活動に注力しています。被害区域の急拡大に対し、縦割り行政の枠組みを超え、環境部局と土木・農林部局、そして市民ボランティアを繋ぐパイプ役として早期発見・対策のネットワーク構築を目指しています。

また、自宅付近でのコウノトリの営巣を機に、地域一帯を「コウノトリ・ウェルカムネットワーク」とするべく見守りを続けています。樹木医と環境カウンセラーの両面から、地域の自然環境を守り、次世代へ繋ぐ活動を推進してまいります。

あいち生態系ネットワーク協議会関連

会長 齊藤 保彦

当協会では、愛知県における 9 地域の生態系ネットワーク協議会のうち、尾張西部、知多半島、東部丘陵及び渥美半島の 4 つの協議会に加盟しています。

毎年、各協議会における総会（年 1～2 回）、その他の活動に参加するとともに、年一回開催される地区間交流会にも参加しています。各協議会での直近の参加状況につきましては、以下のとおりです。

○知多半島生態系ネットワーク協議会

2025 年度の第 2 回総会、フォーラムが開催されました（いずれも、対面とリモートの併催）。なお、フォーラム後、懇親会が開催されました（東海市市内にて）。

- ・開催日：2025 年 12 月 19 日（金）
- ・開催場所：知多市勤労文化会館
- ・総会内容

(1)2025 年度 協議会事業の活動報告について

(2)2025 年度 協議会のスケジュールについて

(3)その他

幹事の交代について

・フォーラム

SPECIAL STAGE のテーマ：今さら聞けない生物多様性わが国の向かう道

○地区間交流会

・開催日：2026 年 3 月 8 日（日）

・開催場所：愛知県芸術文化センター 12 階アートスペース

・開催内容

(1)協議会間の交流について

① 協議会による活動事例の発表

② 出席者による意見交換及び情報交換

(2) その他「県からの情報提供」

※今年度、当協会は欠席

東部丘陵生態系ネットワーク協議会の活動報告

長谷川 博樹

令和 8 年 2 月 4 日、令和 7 年度総会がオンラインで開催され、令和 7 年度の事業報告・決算報告(案)、令和 8 年度事業計画・収支予算(案)が承認されました。令和 8 年度の主な事業は次のとおりです。

(1) あいち自然再生カレッジ

一般参加者を広く募集し、各大学が主体となって講義やフィールドワークを実施します。

時期	内容・テーマ	場所
6～9 月	湿地の植物と昆虫の観察	愛知工業大学八草キャンパス（豊田市）
9～10 月	【調整中】(植生遷移)	県立芸術大学及び周辺湿地（長久手市）
11～12 月	都市の湧水湿地を調べてみよう	椋山女学園大学附属小学校（名古屋市千種区）
11/28	【調整中】(植物観察)	名城大学天白キャンパス及び近隣（名古屋市天白区）

(2) モニタリング事業

海上の森の会に依頼し、湿地、里山など多様な生態系を有する「海上の森」における調査を実施します。

(3) 生態系ネットワーク形成推進事業

あいち森と緑づくり生態系ネットワーク形成推進事業（ビオトープ創出事業）に交付金申請します。

① 名古屋産業大学キャンパス内（尾張旭市）

② 愛知工業大学八草キャンパス内（豊田市）

渥美半島生態系ネットワーク協議会の活動報告

鈴木 吉春

渥美半島生態系ネットワークは、渥美半島が田原市となっていることから、構成団体は田原市内の活動団体と事業所です。他地区の生態系ネットワークのようないくつかの市町がエリアではないために、その構成はかなり限定的となっています。県の呼びかけによって、いくつかの企業が登録をし、小中学校やコミュニティも登録されています。

しかし、「環境活動」をしている団体は少なく、進展はありません。総会やフォーラムでの活動発表は毎年ほぼ同じ団体が行っています。その時の参加団体も 5～7 団体です。

渥美半島生態系ネットワーク独自の活動は現在ありません。10 月には、AECA 渥美半島環境活動協議会の計画に乗って共催という形で「渥美半島の自然訪問バスツアー」を開催しているだけとなります。

今後、渥美半島生態系ネットワークを継続していくには、まずは登録事業所を増やす必要があります。幹事会で独自のプログラムを計画していく必要があると思います。登録団体が増えれば、フォーラムへの参加も増え、パネルディスカッション形式で話し合うことも可能だと思います。

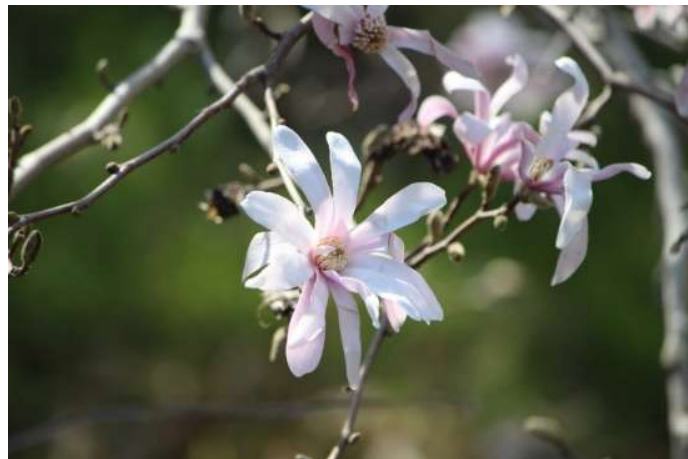


写真 渥美半島藤七原湿地に咲くシデコブシ

環境関連施設見学会（2025 年度第 2 回）

～中部国際空港エネルギー供給（株）～

長谷川 博樹

2025 年 11 月 11 日（火）、中部国際空港（セントレア）の空港施設に熱・電力を供給するエネルギー・センターを訪問しました。センターの運営は中部国際空港エネルギー供給（株）で、空港開業（2005 年）以来、業務を行っています。天然ガ

スコージェネレーションシステム、中部地区最大級の水蓄熱槽（5700 m³）、海水の温度差を利用した高効率な運転等が特色です。



写真-1 会議室における説明

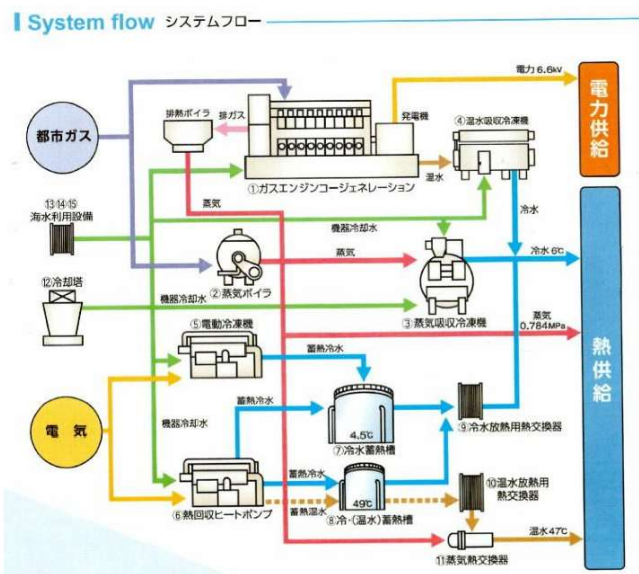


図 中部国際空港エネルギー供給 (株) 会社案内から作成

まず会議室で会社及び施設の概要について講義を受けたあと、制御室を通過して地下の電気室、ボイラ室、冷凍機室を見学しました。中は広く清潔で、ポイントごとにシステムや設備を説明するパネルがあり、見学者への配慮が垣間見えました。いったん屋外へ出てから、コージェネレーション機関室へ入り

ましたが、耳栓必須の大騒音が印象に残りました。屋外から見た施設は蓄熱槽はじめどれも巨大で圧倒されましたが、空港内施設のため写真撮影に制限があり、「心のカメラ」の記憶にとどめることにしました。終始でいねいな説明をいただいた技術・運用部長様はじめ関係の皆様深く感謝いたします。



写真-2 蒸気吸収冷凍機の前で

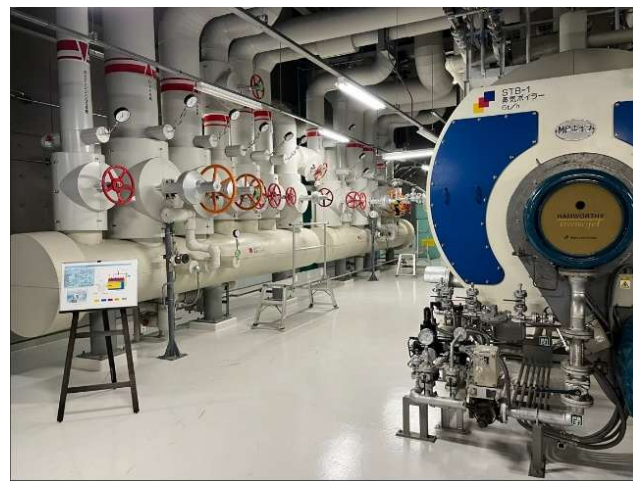


写真-3 蒸気ボイラ：説明版が見える



写真-4 集合写真

2025年度第2回ファラデー勉強会、実施報告

浅野 智恵美

2025年度第2回ファラデー勉強会を、2月8日(日)に開催しました。講師は長年に渡り下水道設計に携われ、技術士(CPD認定・上下水道部門)、当協会理事の伊藤昭彦氏です。「下水道事業の課題と脱炭素化～過去・現在・未来」と題し、下水道事業の歴史の変遷、脱炭素社会に向けた技術動向、未来の下水道事業の在り方について伺いました。今回は会員外の方も参加くださり、お陰様で会場は満席でした。

下水道は浸水防除及び公衆衛生、並びに環境保全に重要な役割を果たしています。そのような中、2025年1月に埼玉県八潮市で下水管が破損し、道路陥没事故が発生しました。被害者の方はもとより、長期にわたる交通への障害や120万人に及ぶ市民への影響など、前例のない大惨事となりました。道路

陥没から1年が経過した現在も付近は悪臭が漂い、通行制限の中、復旧作業が続いています。高度成長期に整備された下水道管が老朽化し、対策が待たなしと認識させられました。一方、下水道分野の温室効果ガス排出量は、日本全体の約0.5%を占めます。下水熱の利用やカーボンニュートラル地域モデル処理場計画による革新的技術、省エネ対策、再エネ導入などが、新たなビジネスチャンスになります。持続可能な社会に向けた重要インフラとして、進化が期待されます。

来年度も内外の魅力的な講師をお招きし、ファラデー勉強会を開催する予定です。詳細はAECAニュースでお知らせします。皆様、ぜひご参加ください。



写真 ファラデー勉強会

下水道事業の課題と脱炭素化

～過去・現在・未来～

伊藤 昭彦

下水道事業の歴史 日本の下水道は戦国時代の天正13(1585)年太閤下水に始まり、明治期には神田に近代下水道が整備されました。明治33(1900)年に旧下水道法が制定され、大正11(1922)年には日本初の下水処理場である三河島処理場が稼働しました。昭和5(1930)年には名古屋市で活性汚泥法による処理が開始され、昭和後半から平成にかけて整備が急速に進み下水管延長は約49万km、終末処理場は2,143箇所になりました。昭和45(1970)年下水道法改正で

は、公共用水域の水質保全が明確に位置づけられ、流域別下水道総合整備計画の策定と処理場の設置が義務化されました。

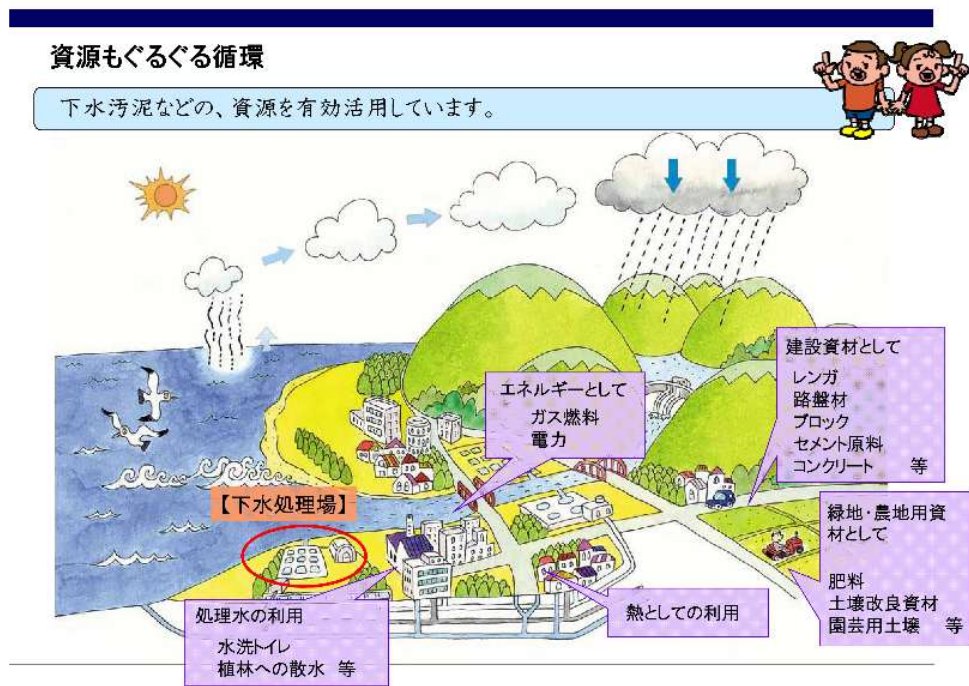
下水道の役割 下水道の役割は「浸水防除」「公衆衛生の向上」「公共用水域の水質保全」です。近年は気候変動により降雨が極端化し、浸水防除として雨水調整池やポンプ場の整備が進んでいます。公衆衛生面では活性汚泥法やオキシデーショondiッチ法が普及し、水質保全では窒素・りん除去の高度処理が導入さ

れました。その結果、河川 BOD や海域の窒素・りん
の環境基準達成率は約 9 割を超えるまで改善しまし
た。一方、ノリ養殖場などでは栄養塩類の不足が課題
となり、周辺の下水处理場の季節別運転により冬季の
放流水質を調整して「豊かな海の実現」に貢献してい
ます。

下水道事業の現状と課題 現在の大きな課題は下水
管・下水道施設の老朽化であります。2025 年 1 月の
八潮市道路陥没事故は下水管の腐食や劣化を浮き彫り
にしました。現在、陥没事故周辺は悪臭・騒音の苦情
が発生しています。悪臭に対しては発生源対策の検
討、騒音に対しては周辺環境に配慮した工法の採用が
求められます。また、日本の人口は近年減少局面を迎
えており、小規模処理区の収入が減少し、市町村単独
での経営は限界に近づいていることから広域化や汚泥
処理の共同化が不可欠であります。そのうえ、人材不
足と技術継承も深刻で、職員数はピーク時から約 43%
減少しました。これに対応するため、官民連携による
ウォーター PPP が進められ、長期契約で施設管理と更
新を一体的に行う仕組みが導入されています。さら
に、施設の耐震化も重要課題であり土木・建築の耐震
基準に基づき、古い建造物の耐震診断、耐震補強が進
められています。

脱炭素化に向けた取組み 脱炭素化は、下水道分野の
温室効果ガス排出量 508 万 t-CO₂ (2022 年度) を
2030 年までに 2013 年度比 46%削減する目標が掲げ
られ、創エネとしての下水汚泥エネルギー化、機器の
省エネ化、汚泥焼却の高度化が柱になっています。一
方、国土交通省は B-DASH プロジェクトにより革新
的技術の実証を進めており、さらに抜本的な排出削減
が必要となることからカーボンニュートラル地域モデ
ル処理場が導入されています。

未来の下水道事業の展望 下水道事業はヒト・モノ・
カネが右肩下がりの厳しい状況にあります。それで
も、今後一斉更新期を迎え、耐震化、気候変動対応、
脱炭素化など様々な機能高度化を同時に進めることが
求められています。持続可能な下水道を維持するに
は、私たちがその価値を「自分ごと」として理解し、
新たな下水道事業への投資に対する社会的合意を形成
することが不可欠であります。なぜなら、下水道事業
は家庭や経済活動からの排水を全て受け入れ「きれ
い」にした上で公共用水域に戻すという、すなわち地
球全体の水循環に寄与している基盤になっているから
です。私たちは下水道事業の重要性を認識し、水循環
インフラとして、さらに未来に向け右肩上がりに発展
していくことを期待したいと思います。



出典：JSWA 環境教育ポータルサイト資源の循環「水循環と下水道」

<https://www.21stgesui.jp/kankyo-kyoiku/material/>

大阪環境カウンセラーとの交流会 in ジブリパーク、活動報告

浅野 智恵美

大阪環境カウンセラー協会（以下、「大阪協会」という。）からのご依頼で、2025年10月18日（土）に「環境カウンセラー交流会 in ジブリパーク」

（愛・地球博記念公園にて）において、セミナーを担当しました。

大阪協会は、高齢者・障がい者環境出前講座を15年にわたり実施されています。大阪協会は「なにわエコ会議賞」を受賞したスタッフの要望から生物多様性を学ぶ機会として今回の視察研修を企画されました。

2005年3月25日～9月25日にはEXPO愛・地球博が、185日間にわたり愛知で開催されました。50万人を超える人が自然の叡智を体感。私は「森の自然学校」のインタープリターに従事しました。長久手会場の森の自然学校と、瀬戸会場の里の自然学校で、「インタープリターと歩く森のツアー」など様々な自然体感プログラムが実施されました。その事業内容を当時のスタッフユニフォーム姿で紹介しました。この森に棲むリスの食痕である“森のエビフライ”の実物を持参し、動物と植物、森のつながりなどもお話ししました。

「森の自然学校」のコンセプトは、“森がパビリオン”でした。インタープリターとは、自然の翻訳者であり、自然が発するメッセージを通訳して伝える森の案内人を指します。人と自然の橋渡し役であり、自然情報とその背後にある意味を参加者に伝え、自然の魅力や大切さに気づいてもらう役目を担っています。実施するプログラムに責任を持ち、五感をフル活用し、参加者が発見する喜びやワクワク感を演出します。

10年後の2015年10月11日には、米国、ドイツ、コスタリカ、ケニア、スリランカからインター

【セミナーおよび資料、関連写真】

プリターをお迎えし、「世界のインタープリター愛・地球ミーティング」が愛知で開催されました。各国の登壇者は英語で報告され、私も日本のインタープリターとして「森の自然学校」の成果を報告しました。その様子を資料で示し、大阪協会の皆さんに紹介しました。「森の自然学校」は2007年3月25日に、愛知県環境学習施設「もりの学舎（まなびや）」として活動を開始し、現在も愛地球博記念公園で運営を続けています。

【参加者の感想】

- ・大阪環境カウンセラー協会では自然分野の取組が難しいことから、ずいぶん参考になるお話を伺うことができました。
- ・セミナーと視察が抱き合わせになった研修は初めてだったので、どれも新鮮で楽しかったです。
- ・「セミナーは難しかったらどうしよう!」と構えていたけれど、とても興味のあるお話で良かった。
- ・大阪でも田舎に住んでいますが、改めて「森」の存在を知ることができました。
- ・“森のエビフライ”の現物を見せていただき、「元の姿は、何だったのでしょうか?」「森のエビフライを作ったのは誰でしょうか?」の質問に、障がい者スタッフが次々と正解していました。

ジブリパークでは秋の七草のひとつ、フジバカマの花の蜜を吸うアサギマダラに遭遇しました。アサギマダラは、数百～数千kmもの長距離を移動する「渡り」を行う蝶です。最近では地球温暖化の影響を受け、生息地や移動パターンが変化していることをお伝えしました。自然共生や環境学習の有り方など、大阪の皆さんと楽しく考えることができた1日になりました。



環境活動ひとつまみ ～その32 戦争に思う4～

戦争はやめて、戦争を止めて、殺さないで、傷つけないで、壊さないで、お願い！！

今年も叶わなかった・・・何人の人がそう思っているのだろう、何人の人がそう思ってきたのだろう。戦争も紛争も醜く激化し、えげつない経済活動の本性がむき出しになっている。そっち系の方々は金持ちで肩書があっても、私の目には紳士淑女に映らない。私は殺されていく人を思いながら、顔を伏せて謝ることしかできない。ごめん、何もできなかった、ごめん、でも生き延びて。

同じ経済活動でも、「三方よし」の「売り手よし、買い手よし、世間よし」なら、大歓迎なのに。人にも周囲の環境にも配慮できる素敵な商売上手。憧れの商人だ。でも今、何人、何社そうだろう？

戦争の間、その場所の環境問題は対象外になる。悲しいことに、省エネや効率化等、環境によかれとがんばって開発した技術が戦争に利用されてしまう。平和ボケの私は、最初はそんなつもりで開発したのではないだろうに、と思う。私が開発技術者なら、儲かってもし悲しい。

出口 知子

道具を作り、使い、応用する生物は知性があるという。が、戦争でのえげつない応用を知性と呼んでよいのか？今なら遺伝子を調べて、DNA配列から個人の残虐性の強さもわかるのではないだろうか？

戦争が続き、それに伴い異常気象も激化して高温、山火事、巨大ハリケーン、水害、雪害、氷河の崩壊等の自然災害もさらに激化、各国の農業や漁業も崩壊。食料と資源の奪い合いで戦争がさらに激化。動植物は環境悪化で激減し、最後は人が食べ尽くして絶滅。最後に勝ち残った戦勝国も餓死と気象災害で全滅・・・そして人類の長い戦争は終わり、人類絶滅後の新しい世界が始まる～なんてことにならないとよいけど。

ずっと環境の仕事をしてきて、震災後の福島放射能汚染の現状を見て衝撃を受け、無力感を持った。エコや環境を考えるのが当たり前とってきたのに、この戦争。戦争が殺すのは人だけでない。その場所の生態系、環境、歴史、文化、思い出、自然界の動植物、愛したペット達等々も。早く終わりますように・・・心から。

草の根環境学習

～ケサランパサラン～

礒貝 はるみ

この奇妙な名前をご存じでしょうか。私は最近それが何であるかを知り驚きました。あるイベントで偶然会った知人が、「ケサランパサランを持っているからあげるよ。透明なプラスチックの箱に入れて、時々おしろいを与えてやると喜ぶよ」と言って取り出したのは、なんとガガイモの実でした。10センチほどの細長いさやの形をしています。その中には絹糸状の細い毛を持った種子が詰まっており、実が割れるとタンポポの綿毛のような種が風に乗って飛びます。種子が空中に飛び出さないように麻ひもで縛ってありました。ガガイモは野山に自生し8月に薄紫色の花を咲かす、キョウチクトウ科のつる性の多年草です。

ケサランパサランとは、江戸時代以降の民間伝承に登場する白い毛玉のような謎の生物とされる物体とのこと。空中を漂い、見つけると幸運が訪れると言われていますが、その正体は明らかではなくいろいろな説があります。子孫繁栄のため種子を遠くまで飛ばす植物の知恵として、大胆な綿毛をまとったガガイモの種子の形状は、まさにケサランパサランというにふさわしいでしょう。先人はこの不思議な自然界の産物にロマンを込めたのでしょうか。私はいただいた幸運とともにそのガガイモの実を持ち帰り、言われた通り透明なケースに入れました。おしろいは与えていませんが、自然の作り出す美と不思議を楽しんでいます。



写真-1 ガガイモの実



写真-2 ガガイモの種子

「渋沢栄一自伝」読後感

一江 輝夫

新1万円札の肖像になった渋沢栄一自身による伝記です。前半は大蔵省を辞めるまで、後半は口述筆記で民間に移ってから晩年まで。農民出身の彼が親の反対を押し切って家を出てから、日本の中枢部分へと引っ張られるように駆け上がり、人生の後半では日本経済を牽引する存在になりました。

運命の転機は、倒幕を志した過激な青年が、皮肉にも幕府の使節団としてパリ万博に出席する徳川昭武（将軍・慶喜の弟）の随行員で渡欧したことです。もし国内に残っていたら、幕末の争い（戊辰戦争）の中で命を落としていた可能性が高そうです。日本の未来のために失いたくない人材だと考えた誰かの采配のように思えます。フランスで彼が目撃したのは、個人の限界を超えた巨大大業を、多くの小口出資で実現する「合本」のシステムでした。

帰国後はただちに大蔵省太政官から召状が来て、早速東京へ来いという通知でした。この時も推挙した人物は、凄い逸材がいるぞといった情報を基にしているようです。そして大蔵省の「改正掛」という横断的な組織でのリーダーシップによって、日本の近代化（度量衡の統一や郵便制度など）を牽引しました。

さらに大蔵省ナンバー2の立場で各省の予算請求を満たす財源の不足を目の当たりにし、民間の資力を強化することが自分の使命だと考え、意を決し辞職しました。「商工業の方面に関しては多少自信もあったので、(略)、とにかく自分の力を十分に発揮し得る方面に向かうのが、人間の本分を尽くすゆえんだと考えた」と書いており、自伝ならではの本人の本懐が伝わります。

日本初の銀行設立を皮切りに、500以上の企業設立（現在の多くの一流企業）や600以上の公共事業設立等、日本の資本主義の基礎をつくりました。多過ぎて物理的に無理では（少なくともアドバイス?）とも思いますが、力を注いだものはページ数が割かれたものでしょう。鉄道建設は紆余曲折ありましたが、なんとか全国津々浦々に敷設され日露戦争時の物資輸送にも貢献したようです。

投機には手を出さず「非常に確実で見込みのある事は分かりきっていたが、低落した鉄道債券を一枚も買わなかったのである。この点は自ら顧みていささか誇りとするに足ると思う」とあります。渋沢の哲学は、『論語』に学んだ「富と貴きはこれ人の欲するところなれども、その道をもってせざればこれを得るもおらず。」です。最後に、現在の日本経済・社会を見て渋沢なら何と言うか、を推測するのは私にとって最もプレッシャーのかかるところですが、「高市首相の誕生でホッとした」でしょうか？



渋沢栄一自伝

絵画



ベトナムの水辺

写真を見て描いたベトナムの風景画です。

緑色絵の具は一切使わず混色です。白は紙の白色をそのまま残しています。

身近な仲間たち

～～～ネコヤナギ～～～

樋口 祐子

7年前の3月によく市の予算が付き、春日井市都市緑化植物園万葉苑が整備されました。それまでは草ぼうぼうの荒れ放題で、同じ時にできて人気のある温室にくらべて、同じ植物園の中にありながら、どうしてこうも違うのだろうと不思議に思っていました。その時、知り合いにもらったネコヤナギを植えてもらいました。そのネコヤナギは順調に育って花を咲かせています。我が家の庭にも植えたのですが、夏の暑さで枯れてしまいました。

私は早春のお日様の光を浴びて銀色にきらきら輝いているネコヤナギが好きです。

ヤナギ科ヤナギ属。各地の山野の溪流沿いに生える落葉低木。

早春に、葉が出る前にふわふわした銀色の毛に覆われた花穂（植物の花が密集して集まっている部分のこと）を付けます。それが猫のしっぽのように見えることから、ネコヤナギと名付けられました。

ネコヤナギは雌雄異株で1本の木に雄花と雌花が混在するのではなく、雄株には雄花のみ、雌株には雌花のみが咲きます。雄花のほうが雌花よりも少し長くてふっくらとしています。雌花は受粉後、子房が成長して果実（さく果）となり、熟すと裂けて綿毛に包

まれた種子を飛ばします。柳絮と呼ばれます。万葉苑のものは雄株です。生け花の材料として人気がありますが、ネコヤナギとして流通しているものはほとんどが雄花です。

万葉集には川楊として出てきますが、3首が詠まれています。

山の際に 雪は降りつつ しかすがに この川楊は 萌えにけるかも

作者不詳 卷 10 1848

解説：山あいに雪が降っている。それなのにこの川楊はもう芽を吹いていることよ。雪の中でも力強く芽吹く春の先駆けとしてネコヤナギが詠われています。



写真 ネコヤナギ

【活動のジャンル：普及啓発、12の専門分野：自然への愛着、活動地域：春日井市】

星空の記 (XVIII) -再びベテルギウスのこと-

佐藤 正光

ベテルギウスはオリオン座の三ツ星の左上に輝く一等星で、全天 21 個の一等星の中で最も注目される星の一つです。地球からの距離は約 640 光年、直径は太陽の約 1,000 倍で太陽の位置に置けば木星の軌道に達する程です。星の文人、野尻抱影著「日本の星」¹⁾によれば、ベテルギウスの和名は平家星でその名の由来は赤い色、対比される源氏星は三ツ星の右下に輝く一等星の青白いリゲルで、平家の赤旗、源氏の白旗に見立てた日本人の素晴らしい命名です。

ベテルギウスは赤色超巨星と呼ばれる恒星進化の最終段階にある星で、いつ超新星爆発を起こしてもおかしくないと考えられており、0.0 等級から 1.3 等級まで不規則に、2170 日周期と 425 日周期で変光する脈動変光星です。ところが 2019 年 12 月の 0.5 等級から 2020 年 2 月の 1.6 等級まで明るさで 2.5 倍以上に大減光したので、大爆発の前兆か、と世界中で話題となりました。そのことは本誌 87 号に「星空の記 (III) -ベテルギウスの変光」で紹介しました。その後の研究で大減光は星の脈動に加えて、星から放出された大量の塵が関係して、恒星表面の温度が下がったために光を吸収する分子の発生が加速されたことなどが原因で、当面の大爆発はないと結論されています。

ベテルギウスの不規則な 425 日周期は脈動から説明できるものの、割に規則的な 2170 日周期の長周期二次変動 (Long Secondary Period, LSP) の原因は未発見の伴星によるものではないかと以前から指摘されていました。

2025 年 7 月 21 日、ベテルギウスの“隠れた伴星”の存在が明らかになったことを NSFNOIRLab (アメリカ国立科学財団、国立光学・赤外天文学研究所) が公開しました。この伴星は長年、ベテルギウスの強烈な光に隠れてハッブル宇宙望遠鏡でも観測できませんでしたが、ハワイ・マウナケア山にあるジェミニ北望遠鏡を使った特殊な撮影法で、ようやくその存在が明らかになりました。伴星は太

陽の約 1.5 倍の質量を持つ青白い若い恒星で、まだ中心での水素核融合が始まっておらず、“生まれたての星”とも言える状態とのことです。

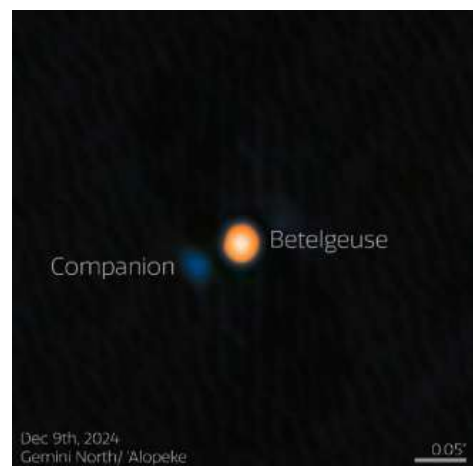
研究チームはこの星に「シワルハ (Siwarha)」という愛称をつけました。これはベテルギウスの語源となったアラビア語「アル・ジャウザーの手 (女性的存在)」にちなんで「彼女のブレスレット」という意味を持っています。しかし、これまでに得られた結果は技術的な信頼度に若干の不安があるため、2027 年 11 月の地球から見た伴星がベテルギウスから最も離れる (最大離角) と予想されるタイミングに、追加観測で伴星の検出を試みることで、今回の結果が検証されることに期待しています。

当面の爆発はないとされているものの、もしベテルギウスが超新星になった場合、その明るさは満月の半分ほどになり、昼間でも肉眼で観測できると予想されています。この光は数か月間続き、夜空では数年間も目立ち続ける壮大な天文イベントとなることが期待されます。

1) 野尻抱影:日本の星(中公文庫、1976年7月10日発行)、268~270頁

〈お詫びと訂正〉

本誌 102 号の拙稿「星空の記-XVII 再び月のこと」18 頁右欄下から 9 行目の「1月号」は「11月号」の誤記です。謹んでお詫び方々訂正します。



2025年7月22日、日本経済新聞掲載。

新しきウイルスに合う

～この星にホモサピエンスの生命永かれ～ X

《ウィズコロナの世界10》

森田 登喜子

COVID-19 が世界をめぐり、2020年WHOがパンデミックと宣言してから6年が経ちました。東京オリンピックを延期した時、北京、パリ、コルディナと4回のオリンピックが開かれる将来は見通せませんでした。今や「コロナ」は日常化し、高熱の風邪症状があると「コロナ？インフル？風邪」とチェックする程度です。しかし、COVID-19には関連死、後遺症、ワクチン副反応等の深刻な問題が残っており、まだまだ終結はしていません。

国内の感染者数の推移 感染者数は、2023年5月に第8波が終わった時点で最も減少し、感染症法でインフルエンザ並の5類に移行しました。その後も感染ピークは繰り返しましたが患者数は次第に減少してきました。今年2月に第14波のこれまでになく低いピークがあり、今は低下中です。しかし、無症状や軽症の感染者の存在を考慮すると、まだ感染の終結と推測されます(図-1)。愛知県の感染者数も全国と同様の傾向を示しています(図-1、表-1)。

重症化リスクが高い傾向は見られていません(前号参照)。
死亡者及び累積死亡者数推移 感染者数の減少と軽症化で日本のCOVID-19は沈静したかのように見えますが、5類移行前の死亡者数は大きく、その後も減少していません(図-2、3)。死亡者数は、2024年約35,000人、その後2025年も統計が公表されている8月までで16,000人を超えました。5類移行後の累計は158,000人に達しました。感染当初日本の死亡者は少なかったのですが、2023年のG7超過死亡者数統計では最下位のカナダを超えてフランスに近づいていました。その後も日本の死亡者数が大きいことから、さらに悪化している可能性があります。

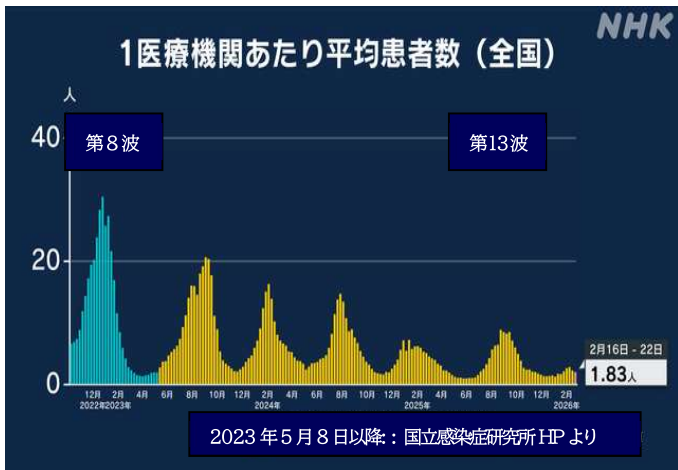


図-2 5類移行前の累積死者数 厚労省発表

図-1 新型コロナ「定点把握データ」厚労省発表

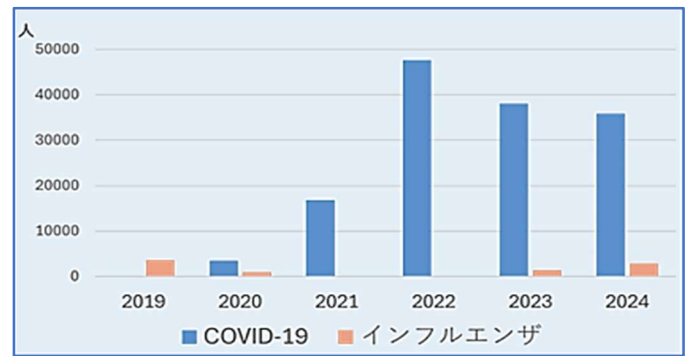


図-3 わが国の人口動態統計におけるインフルエンザとCOVID-19による死亡数 2025年9月1日 日本感染症学会・日本呼吸器学会・日本ワクチン学会

愛知県	
2026年2月9日～2月15日	2026年2月16日～2月22日
1.69人	1.38人

表-1 愛知県新型コロナ「定点把握データ」厚労省発表

変異株の推移 現在流行の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)は、2025年冬から続くオミクロン株系の変異株NB.1.8.1(ニンバス)です。「のどがカミソリで切られるように痛い」ことが特徴です。WHOでは「監視下の変異株(VUM)」に分類されています。罹患しやすく、再感染もあります。

Long COVID-19 コロナ感染の後遺症は軽症者でも起きるため、現在も後遺症に苦しむ患者数は減少せず、継続して治療の対象となっています。社会的影響も大きいため公的支援が設けられ、各自治体に窓口が作られています(99号参照)。
日本におけるワクチン接種数推移 パンデミックを終結させるため、ワクチンの開発が急がれました。従来遺伝子治療のために開発されていたmRNA製剤が急遽コロナワクチンに応用され、大量生産が可能だったために強く推進

されました。日本では、当初他国に比して死亡者が少なく、ワクチン接種が有効だとみなされ、強く推奨されました。現在までの累積接種回数は4億回以上と推定されています。しかしながら死亡者数は増加し続け、「他国に比べて多い接種数にもかかわらず関連死が減らない矛盾」への直感的な疑問は拭えません。また、少なからず重篤な副反応例が多いため、いわゆる「反梓活動」も大きくなって、ワクチン接種反対の政治活動まで見られます。

mRNA ワクチンの副反応・死亡者数 mRNA ワクチン接種開始時から副反応が危ぶまれていました。しかし、副反応という診断が躊躇われる場合もあり、被害者数の正確な報告は困難です。予防接種健康被害救済制度に申請された数から発症数の大枠が推測できます。

○申請 14,267 件、認定 9,310 件（うち死亡 1,038 件）
⇒ 死亡は申請件数の 7.2% 承認件数の 11.1%
申請自体が困難な状況がある（前号参照）ため、実際の死亡件数はさらに大きいと推測されます。

mRNA ワクチンの副反応発症機序と対策 製剤の添付文書を見ますと、多くの副反応の記載があります（図-4）。その中で重大な副反応と記載されている心筋炎、心膜炎については、健康な若い男性に重篤な症状がでて医師を驚かせました。また、高齢者や基礎疾患を有する者には接種要注意とされています。しかし、実際にはワクチン接種は特に高齢者や基礎疾患を有する者に勧められています。薬剤の臨床試験は通常最大でも 10 万人規模までですが、ワクチン接種が膨大な人に実施された COVID-19 では、重症副反応の例数も膨大になりました。ある意味で、現在は超大規模臨床実験中ということになります。

mRNA そのものがワクチンとして使えないという報告もありますが、現在までに副反応の原因についての主な報告は次の2本です。

① 壊れやすい mRNA を保護して細胞に入れ易くするために、LNP(脂質ナノ粒子)で mRNA を覆う。その LNP が細胞内で炎症を起こし、副反応の原因となる¹⁾

② mRNA は、いわばタンパク作成設計図であり、それを読み解くのに必要な Cap と呼ばれる組成部分が mRNA の先端にある(日本の古市泰宏博士が発見)。製剤の課程で生じる、スパイクタンパクを作らない Cap の無い mRNA もワクチンに取り込まれ、細胞内に残るため副反応の一因となる²⁾

なお、ワクチン接種によって生じたスパイクタンパクは体内に抗体を作って 2, 3 週間まで消滅すると考えられてきました。しかし、実際には最大 800 日残存していることが確認されました。また、LNP 残存の可能性もあります。これらは、

予想に反した現象で、その影響も解明されていません。

現在副反応の原因を除く研究が続けられています。①に対しては、LNP を使わず、ジェットインジェクターを用いて瞬間的に mRNA のみ (naked mRNA) を体内に入れる方法¹⁾で、②に対しては、Cap にタグを付けて Cap のある mRNA を集め、スパイクタンパクを作らない Cap 無し mRNA と分離してワクチンを精製する方法²⁾です。①、②の手段を用いて Cap のある naked mRNA を直接体内に注入すればワクチンの副反応の減弱が期待できるため、現在実用化が急がれています。

来るべきパンデミック WHOは2025年 WHO Pandemic Agreement (外務省:「WHO パンデミック協定(仮称)」)を採択しました。最近注目されたパンデミックの危惧される事例には、アメリカの乳牛への鳥インフルエンザウイルス感染があります。乳汁との接触で搾乳者に結膜炎の症状が出ており、ヒトからヒトへの感染に移行しないか警戒されています。また、現在大規模に伐採されている熱帯雨林で野生動物の捕獲が増え、食料として市場に出されるブッシュ・ミートの量が大幅に増えていることです。人が日常的に血液と接触しており、ウイルス感染の危険性が増しています。

「Zoning (棲み分け) が、ヒトの安全のためにも環境保全のためにも必須である」と、コロナパンデミックの中で言われました。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ことなく、今も尾を引く COVID-19 の悲惨な年月を繰り返さないよう、官民のともに努力をしなければならぬと痛感します。

COVID-19 の開始から「ヒトの安全に必須な環境を守る」ための記録として本記事を連載してきました。今も人の安心・安全に関わる大きな社会・環境問題ですが、かなり恒常化もしてきました。まだまだ未解明のウイルスとその蔓延および環境破壊に注目はしていきたいと思いますが、連載としてはここで筆を置きます。

長く拙稿を記載いただき、ありがとうございました。

2026年3月25日記

1) <http://doi.org/10.1016/j.ymthe.2024.03.022> “Career-free mRNA vaccine induces robust immunity against SARS CoV-2 in mice and non-human primates without systemic reactogenicity”, Saed Abbasi, Miki Matsui-Masai, et. al., *Molecular Therapy*

2) https://www.natsj.jp/doc/regulatory_science/17-7.pdf Pharmaceutical and Medical Device Regulatory Science Vol. 54 No. 4 (2023) [山口ら: mRNA ワクチンに関するリフレクションペーパー検討事項]

四ツ谷用水をさがして (2/2)

伊藤 昭彦

仙台市は杜の都³⁸⁾と言われ伊達政宗公や青葉城址が有名な観光地です。私は転勤先であった仙台市に 22 年間住んでいました。古代中国の「陰陽五行説」から生まれた青春・朱夏・白秋・玄冬の考え方がありますが、人生の壮年期である朱夏を過ごした愛着のある街が仙台市です。この仙台市には「四ツ谷用水」という土木遺産が存在し、いくつかの市民関連団体は歴史的背景の再評価を研究して周知・継承活動をされています。これらの研究成果には佐藤昭典著「もう一つの広瀬川」1985 年等があり、この集大成として「四ツ谷用水をさがして」が仙台・水の文化史研究会（以下、「研究会」という。）より出版されています。この書籍を読んで”四ツ谷用水をさがして”最終回を紹介します。

仙台市の四ツ谷用水は、伊達政宗の命で作られた用水路で、本流は 1 級河川広瀬川から梅田川に流下し、3 本の支流から多くの枝流が流れ下りました。用水路は城下町内で防火用水及び地下水を補給して井戸水を供給するとともに水下の農地を灌漑しました。明治以降、上下水道の整備により生活用水としての利用は減少し、次第に暗渠化が進んで水路にフタがされることにより、地上から姿を消しています。

現在の四ツ谷用水は、本流が宮城県の工業用水道（暗渠）として使用されているだけで、その他の支流は暗渠化されているか埋められています。

明治 31 年（1898 年）からの下水道整備によって、徐々に生活用水としての利用は減少しました。昭和になり自動車交通の普及は、用水路の暗渠化・埋め立てを進めることになり用水の流れは消滅し、湧水や井戸水は枯れてその姿を消しました。しかし、暗渠化された本流は現在でも宮城県工業用水道事業として活用されています。それでも、わずかに残された貴重な遺構が現存しています。また、令和 7 年（2025 年）1 月 20 日発行の「社会科中学生の歴史」帝国書院に「四ツ谷用水」が記述されました。青葉区八幡 2 丁目洗い場跡の橋の横に「四ツ谷用水」という看板があることからこの歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかたを第 2 節で取り上げられました。

このようなことから、四谷用水は近世の土木技術を顕彰する貴重な遺構であることは論を俟ちません。



図 四ツ谷用水ルート図

出典：四ツ谷用水再発見事業仙台市 HP を加筆



写真-1 四ツ谷用水古今の記念碑 (AER (アエル))

撮影：関山ゆらさん

市民関連団体 四ツ谷用水の関連市民団体は「仙台・水の文化史研究会」を始め 5 団体が活動されています。それぞれの団体は四ツ谷用水の歴史や現存する水路の場所や地質などを調査研究して情報を集め、その成果を市民に講演会等を通じて発表され、未来に向けて必要な政策提言が行われています。その活動によって仙台市内に四ツ谷用水が張り巡らされていたことが市民に周知されて四ツ谷用水の認知度はますます高まっています。そこで、2014 (平成 26) 年この 5 団体は、これまでの研究成果を基に四ツ谷用水の土木遺産を「杜の都仙台を世界に発信出来るようにする」として土木学会選奨土木遺産の公募推薦活動を行いました。

四ツ谷用水の復活 四ツ谷用水は市街地地下の帯水層構造を活用して、豊かな水環境を造り上げました。この遺構

は、都市のヒートアイランドの抑制にも役立ち、災害時の水の供給源に活用できれば、防災上にも役立つとされています。そのため、四ツ谷用水の水の流れの復活が望まれているところです。

土木遺産 広瀬川の河岸段丘の地形を巧みに利用し、自然流下の水路配置と地下水の涵養を行い、杜の都仙台の水環境を支えた点が評価され、平成 28 年度に土木学会選奨土木遺産に認定されました。

まとめ 四ツ谷用水は、伊達政宗により仙台の地形を巧みに利用して自然流下の水路を築造して水環境を構築した土木遺産です。江戸時代に開削され、防火用水、地下水涵養による井戸水供給、そして水下の農地灌漑に利用されました。しかし、近代以降は支流が暗渠化され次第にその姿を消しています。現在は暗渠化された本流が工業用水道事業として今でも使用されています。2016 年には四ツ谷用水は、「杜の都仙台の水環境を支える近世より継承された貴重な土木遺産」として土木学会選奨土木遺産に選定されました。

また、今年度の中学生の歴史教科書に、歴史の学び方の題材として四ツ谷用水が取り上げられ、仙台市をはじめ全国の次世代を担う子供たちが四ツ谷用水をとおして自分たちの町の水と環境の歴史を学ぶことになります。

仙台市と関連市民団体は協働して、「四ツ谷用水」の史実の調査・研究活動を継続するとともに、その成果を市民に発表し、現地案内やフォーラムを開催して、四ツ谷用水の周知・継承を図ることとして積極的に活動されています。

写真-2

認定プレート (郷六取水堰)

提供：仙台・水の文化史研究会

会長 柴田 尚氏



協会報記事のお願い

会報編集委員会

日頃から、協会報にご支援、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、協会報の構成は従来より以下のとおりでした。

1. 総務・行政関係
2. 環境行事
3. 環境活動
4. 連載

この度、協会報第 104 号から 4.連載については隔号掲載とし、段階的に完結いただくこととします。

以降の 4.連載は会員の皆さまに環境保全活動の活動状況を情報共有する環境保全活動実績に見直します。内容は、環境カウンセラーの定義に従い、ご自身の環境保全活動の活動状況（過去・現在）を掲載いたします。

なお、記事タイトルの下段には活動のジャンル及び 12 の専門分野、並びに活動地域を記載していただくものといたします。ご理解の程、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

(森田 登喜子) コロナ世を 凌いで生きし 人の逝き

コロナ記終える 時にぞなりぬ

畏友古賀氏が逝かれ 1 年が経ちました。

私の拙い原稿を読んでくださった人が逝き、時の流れを思います。

残念ながら COVID-19 は完全に収束してはいませんので、個人的には注目し続けたいと思っています。

(磯貝 はるみ) 春になると心が軽くなりウキウキします。

私は立春の翌日に生まれたので、祖母が「はるみ」と名付けたそうです。タンポポ、カラスノエンドウ、オオイヌフグリ、ホトケノザ、クローバーなど野の草花たちも待ってましたとばかりに一斉に咲きました。協会報第 103 号をお届けするころには、初夏の便りが届くでしょうか。



(深谷 百合子) 3 月末の週末は鈴鹿サーキットで F1 が開催されました。サーキットに近い我が家では 20 年近く前はマシンの音が聞こえてきましたが、ハイブリッドが導入されてからは静かになり、かわりに上空を飛び交うヘリコプターの音が「祭り感」を醸し出しています。自動車レースも時代とともに変化していることを感じます。

(行本 正雄) ウェルビーイングとは「多様な幸福」、「健康で満たされた生き方」「やりがい・生きがい」を意味し、市政や企業の指針にもなっています。近年では、経済的・環境的ウェルビーイングも重視され、地球や社会とともに持続可能な幸せであることが目指されています。環境カウンセラーとして未来世代のためのウェルビーイングを求めていきたいものです。

(伊藤 昭彦) 今年の桜は、緑の葉に早く変わりたいのをじっと我慢して入学式まで咲いてくれました。桜が祝福する中、新たな環境で一步を踏み出す新入生の皆さん。これから始まる学びと出会いが未来を豊かに彩ってくれます。希望あふれる日々の始まりを心からお祝いいたします。

編集 G より : 会報 89 号から電子版 (カラー版) のメール配信が標準となりました。紙会報 (白黒) の配送を希望の方は下記奥付の宛先へメールで連絡下さい。会員のみなさまの会報へのご寄稿と会報編集への参加をお待ちしています。

NPO 法人愛知環境カウンセラー協会報第 103 号
題字は佐藤正光氏揮毫

発行 2026 年 4 月 25 日
編集 : 森田、磯貝、深谷、行本、伊藤

NPO 法人愛知環境カウンセラー協会
〒453-0041
名古屋市中村区本陣通 5-6-1
地域資源長屋なかむら 201

HP : <https://sites.google.com/site/npoaeca1/>
E-mail : npo.aeca.npo@gmail.com
TEL&FAX : 052-471-7477 (電話は月～金曜)
郵便振替 : 00810-0-118938